

IIJ、マルチクラウド対応のシステム開発環境向け 新ソリューション「IIJゼロトラストアクセスソリューション for Developers」を 提供開始

-- VDI(仮想デスクトップ基盤)やID管理、閉域ネットワーク等をオールインワンで提供 --

当社は、VDI(仮想デスクトップ基盤)や ID 管理、閉域ネットワーク等をオールインワンで提供することにより、マルチクラウドに対応した適切なシステム開発環境を構築できる新ソリューション「IIJ ゼロトラストアクセスソリューション for Developers」を本日より提供開始いたします。これにより、マルチクラウド環境下のシステム開発において、VDI を使ったセキュアなアクセスと運用の効率化が図れます。

近年、企業のシステム開発環境では、セットアップ作業に時間がかかる、資産管理が煩雑、データ持ち出し制御が難しいなどの理由から、ローカル PC に代わって VDI の導入が進んでいます。一方、企業システムは DX 推進などによりクラウド化が進み、VDI を使ったシステム開発においても新たな課題が発生しています。特に、マルチクラウド環境でのシステム開発においては、開発者の ID 管理が複雑化し、権限管理やアクセス制御の一元化が求められるとともに、ネットワーク接続の安全性確保などが情シス部門にとって大きな課題となっています。

当社は、これらの課題を解決するため、当社の既存サービスを組み合わせ、VDI 環境に加え、ID 管理・閉域ネットワークをオールインワンで提供する新ソリューション「IIJ ゼロトラストアクセスソリューション for Developers」を開発し、提供することとしました。

■特徴

・VDI による開発環境整備の省力化とセキュリティ確保

VDI はマスタイメージから複製されるため、開発環境の構築作業が効率化できます。また、作業環境をローカル端末から分離することで、データの持ち出しなどのセキュリティリスクを回避できます。

・開発者 ID の一元管理により運用負荷を軽減

ID や組織マスタを一元管理できるクラウド型 ID ガバナンス管理サービス「IIJ ID ガバナンス管理サービス(IGA)」により、開発者 ID を一元的に管理し、さらに IGA を基点に各クラウドへ開発者情報を自動連携することで、ID 管理の運用負荷軽減が図れます。

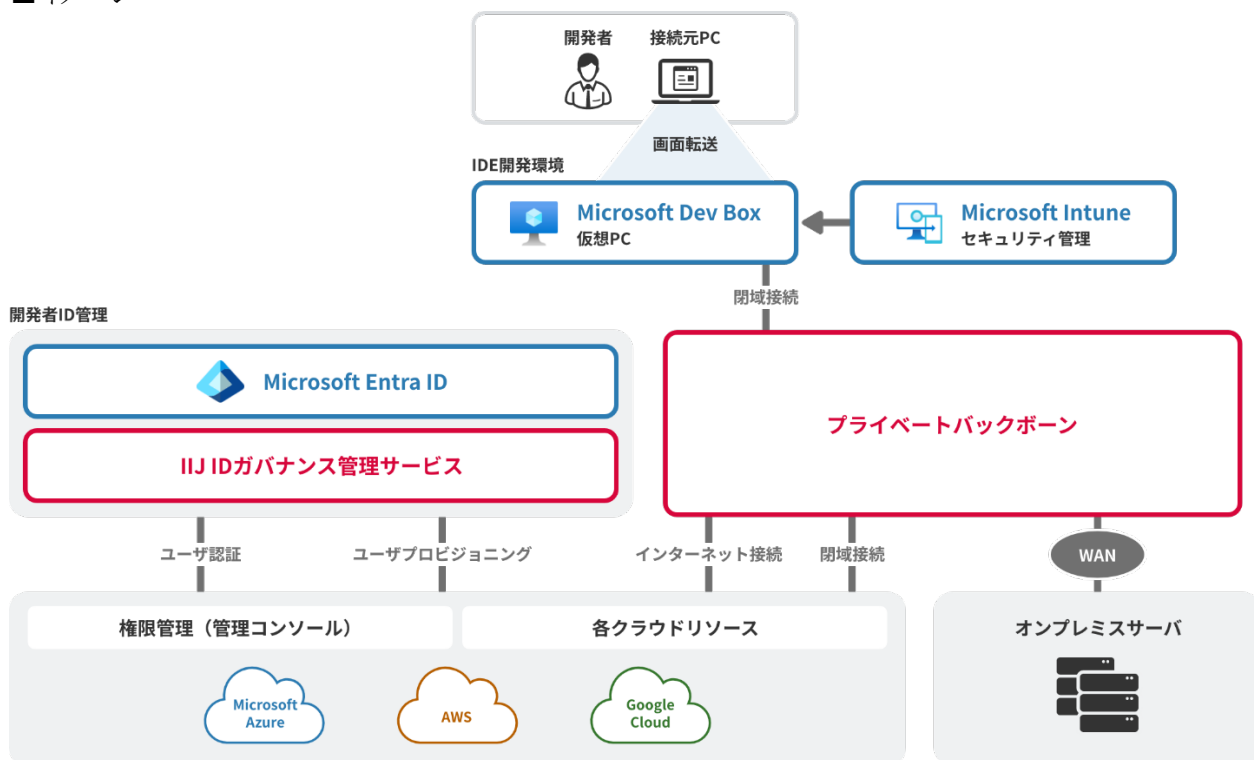
・プライベートバックボーン経由でクラウドへのセキュアで安定した接続を実現

VDI から各クラウドへは、IIJ プライベートバックボーンサービスを経由し閉域接続することで、セキュアで輻輳や遅延の少ないアクセス経路を確保します。また、プライベートバックボーンを経由することで、拠点からクラウドごとに個別の閉域接続を敷設する手間とコストを削減できます。

■価格

個別見積もり

■イメージ



➤ ソリューションの詳細は、<https://www.iij.ad.jp/biz/zero-trust/> をご覧ください。

当社は今後とも、豊富なクラウド運用実績と技術知見を活かし、お客様のマルチクラウド活用を包括的に支援してまいります。

(ご参考)

IIJ のマルチクラウド MSP について

IIJ は、クラウド導入を成功に導くモデルとして独自に策定した CAF (Cloud Adoption Framework) に基づき、マルチクラウド MSP として包括的な支援プログラムを提供しています。「IIJ ゼロトラストアクセスソリューション for Developers」は、CAF の 7 つの構成要素のうちの「オペレーション」の視点からマルチクラウド活用を支援するサービス・ソリューションの 1 つです。

コンサルティング&インテグレーション

IIJ がマルチクラウドMSPとして培ってきたノウハウで、お客様個別の課題を解決します。



ガードレールプラットフォーム

利用者を制約せず、自然とクラウドを安全に利用できる機能をサービス・ソリューションとして提供します。

- IIJ のマルチクラウド MSP の詳細はこちらをご覧ください。
<https://www.ij.ad.jp/svcsol/focus/msp/>

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 太田、荒井

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。